

川崎異業種研究会(略称:川異研)は、昭和62年 7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流 のグループです。

## 川崎異業種研究会のホームページ http://www.kawaiken.jp/

## 10 月定例会(国内視察会)

当研究会では毎年10月に視察会を実施している。今年度は10月19日(金)~20日(土)会員10名の参加を得て、福岡県(北九州市、福岡市博多区)を視察した。

## 【19日(金)】

羽田空港より約1時間半のフライトで福岡空港に到着。空港からはマイクロバスで初日の視察地である北九州市へ向かった。「ものづくりのまち」として知られる北九州市は1960年代には高度成長の代償として多くの公害問題に直面した。

その後自治体と企業、人々が一体となり、 環境改善に取り組み「国連グローバル500 賞」を国連より受賞するまでになり、見事 「公害の街」から「環境の街」として生まれ変 わった。私たちが訪れた際も素晴らしい秋 晴れの空が出迎えてくれた。

視察のガイド役として北九州商工会議所の牛島氏が同行してくださり、最初の視察先である「TOTOミュージアム」を訪れた。当ミュージアムはTOTO(株)の創立100周年を記念して開設された資料館である。

同社の「ウォシュレット」はトイレの温水洗浄便座「ウォシュレット」という商品名が呼称として定着しているが、同館は単にトイレをはじめとする水まわり製品を紹介するだけではなく、創業の精神や歴史を次世代へと継承することを目的としている。国産第1号の洋式便座や1回の洗浄に使う水の量が3.6リットルの最新型の便器、洗面化粧台、また1964年にホテルニューオータニへ納入した日本初となるユニットバスルームなど、約950点が展示されている。TOTOが果たしてきた役割やTOTOのものづくりへの想いが伝わるミュージアムであった。



TOTOミュージアムにて



日本のトイレの変遷

続いて産業用ロボットで世界第4位のシ ェアを誇る(株)安川電機中間工場の視察 であった。こちらの工場は2015年8月稼動 開始。中・大型産業用ロボットの部品加工 から組み立てまでを一貫生産している様子 は圧巻であった。また環境配慮への取り組 みとして、ドライアイスブラスト洗浄や水 溶性塗料の採用によりVOC排出量の大幅 な削減を実現しているそうで、ここでも環 境への配慮がなされた姿勢が貫かれてい る。残念ながら工場内の写真は紹介できな いが、13,346m2の工場では月産900台を 誇ることを証明するかのように、複雑に駆 動する様子やロボットアームやパーツセン ターからの配膳、組立、試験、塗装、組合 せ試験、出荷まで、一連の工程が効率的な 生産ラインとなっていた。



(株)安川電機中間工場の概要説明



初日の最後は世界遺産登録(2015年)された「遠賀川水源地ポンプ室」である。約100年前に当時の八幡製鉄所(現新日鐵住金(株))で使用する工業用水確保のために操業された。明治建築のレンガ建造物で、現在も稼働している。

懇親会は九州各地の活魚が味わえる名店「博多料亭稚加榮」にて鮮度抜群の食事 をいただき、会員の親睦を図った。



世界遺産 遠賀川水源地ポンプ室をバックに



視察会第1日目お疲れさまでした

## 【20日(土)】

2日目は、福岡市内(博多区)を視察した。 福岡市は川崎市とほぼ同じ人口規模(158 万人)で政令指定都市の中では人口増加率 第1位となっている。特に博多、天神地区 が増加しているそうで、活気のあるその魅 力の一端を街歩きにて感じてみた。

案内役は福岡市観光案内ボランティア((公財)福岡観光コンベンションビューローより派遣)の矢口氏であった。スタートは「博多町家ふるさと館」である。こちらは福岡市の指定文化財に登録されていて「博多町家」、明治中期の博多織織元の町家を移築復元されている。明治から大正の時代の博多の暮らしや文化を紹介しており、博多の歴史、伝統などが感じられた。



観光案内役による説明



博多の氏神が祀られる櫛田神社

「櫛田神社」が近くにあり、こちらの境内には700年の歴史ある「博多祇園山笠」(櫛田神社祇園例大祭)の「飾り山笠」が展示されていて、その見事な造形と力強さに圧倒された。続いて、博多座からキャナルシティ博多までをつなぐ、およそ400メートルのアーケードに約100店舗が並ぶ川端商店街を視察。商店街の一角にある「川端ぜんざい広場」には年間を通して山笠が展示されていた。博多人形や豚骨ラーメンなど博多の味の飲食店などがあり、アーケードには、博多弁番付が下がっていて皆、それぞれ意味を考えながら散策した。

案内役の矢口氏の軽妙なトークと、詳しい情報の提供で約2時間のコースを堪能することができた。



見事な山笠



博多弁は面白い

昼食前に(公財)福岡観光コンベンション ビューローの峰氏より、同財団法人の事業 概要の説明を受けた。福岡市と周辺地域と の連携のもと、観光客・コンベンションの 誘致・振興を図り、国際、国内観光の振興に よる地域経済の活性化を行っているとの事 であった。

午後はキャナルシティ博多を視察した。こちらは22年前にカネボウ工場跡地に建設された巨大商業施設で43,485m²の敷地施設内にショッピングモール、レストラン、シネマコンプレックス、ホテル、オフィスビルなどからなる大型複合施設である。中央ステージでは、世界各国のストリートパフォーマンスやライブが日々行われ、無料で観覧できる。当日は音楽に合わせて踊る噴水「ダンシングウォーター」が多くの家族連れやカップルで賑わっていた。

予定の視察を終了し、福岡空港を発ち、 羽田空港に定刻通り到着し解散した。



(公財)福岡観光コンベンションビューローの概要説明



7ネクネと踊る 「ダンシングウォーター」